



菅島 野外行動訓練

6月5日（金）、第1輸送航空隊は三重県鳥羽市の菅島において野外行動訓練を実施しました。菅島は、昭和58年4月に第1輸送航空隊所属のC-1輸送機2機が墜落した場所です。本訓練は、野外行動要領を概成させ、任務遂行に必要な気力・体力の向上を図るとともに、菅島航空事故の教訓に対する認識を深め、隊員の使命感の醸成、安全意識の高揚及び航空事故の風化防止に資することを目的として実施しました。訓練には先発隊を含む40名が参加し、道中の清掃活動を行いながら、墜落現場近くの山中腹に建立された慰霊碑を目指しました。慰霊碑及びその周辺は、日頃から島民の皆様のご厚意により大切に整備・管理されています。参加者は到着後、事故や殉職された方々に思いをはせながら慰霊碑周辺の清掃を実施し、その後、全員で黙祷を捧げました。隊員たちは、本訓練を通じて菅島航空事故への理解を一層深めるとともに、同様の事故を二度と発生させてはならないという決意を新たにしました。また、飛行安全の重要性を改めて認識し、その責任の重さを胸に刻む機会となりました。訓練で得た教訓を今後の任務遂行に活かし、安全を最優先とした飛行運用に努めてまいります。

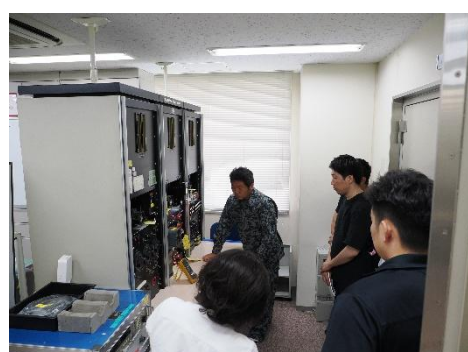


防衛・基地モニター小牧基地研修

6月29日（月）、小牧基地防衛・基地モニターによる令和8年度第2回小牧基地研修を実施しました。

今回は、第1輸送航空隊整備補給群を研修対象とし、航空機、車両その他の動力器材の整備業務及び小牧基地における補給業務について理解を深めていただきました。整備及び補給業務は、普段目にする機会の少ない分野であることから、モニターの皆様は大変興味を持たれ、見学先では多くの質問が寄せられました。航空機及び車両等の整備作業場では、実際に勤務する隊員の姿や作業の様子を見学していただきました。隊員が細部にまで注意を払いながら黙々と任務に取り組む姿に、モニターの皆様は深い感銘を受けていました。特に、整備作業で使用する工具や器材の厳格な管理体制については高い関心が寄せられ、安全確保に対する意識の高さを実感していただく機会となりました。

また、各見学場所では隊員が笑顔で分かりやすく説明を行い、寄せられた質問にも丁寧に対応しました。その姿から、隊員一人ひとりが自身の職務に誇りと責任を持って任務に取り組んでいることを感じていただけたものと思います。今回の研修を通じて、モニターの皆様には第1輸送航空隊整備補給群の任務の重要性と、その任務を支える多くの隊員の努力について理解を深めていただくことができました。今後も基地内のさまざまな部隊の研修に参加していただき、小牧基地に対する理解をより一層深めていただければと思います。



「笑顔でさががけあいさつ運動」への参加

6月30日（火）小牧基地は、小牧市内一斉啓発活動「笑顔でさががけあいさつ運動」に参加しました。

この活動は、小牧市青少年健全育成市民会議が推進する市民参加型の運動で、家庭・地域・学校の連携を深めるとともに、あいさつを通じて地域のつながりを育み、地域ぐるみで子どもたちの健やかな成長を支えることを目的としています。市内一斉啓発活動は、毎年6月と10月の年2回実施されています。当日は、登校する子どもたちや地域の皆様と気持ちの良いあいさつを交わし、交流を深めることができました。子どもたちの元気なあいさつや笑顔に触れ、地域との絆の大切さを改めて実感する貴重な機会となりました。

小牧基地は、今後も地域とのつながりを大切にしながら、地域の皆様とともに、明るく安心して暮らせるまちづくりに貢献してまいります。

